●各議員のQRコードを読み取ると、その議員の一般質問の様子が視聴できます。

Q&A 一般質問



篠原 光一（しのはら こういち）議員 無所属

質問の様子はこちら！

ふれあい収集について

Q 令和7年12月定例会における答弁で「ふれあい収集を利用できる対象基準の引下げについて関係機関の意見を伺いながら検討していく」との答弁があったが、その後の検討状況について伺う。

A 対象の要件については、当初の予定どおり段階的に拡充する方針です。まずは、本年10月1日より65歳以上で要介護認定2以上の要件を、要介護認定1以上に拡充する予定です。

今後も、ふれあい収集の増加数を見極めながら、対象要件の拡充を適宜行っていきたいと考えています。

（市民生活部長）

防災について

Q 自治体向けの避難所に関する取組指針・ガイドラインが改定され、一部項目が追加されたが、本市の備蓄や避難所設備において対応が可能なのか。市だけで対応が難しいのであれば、国に支援を求める必要があると思うがいかがか。

A 高齢者、障がい者、乳幼児、女性等多様なニーズに対応する避難所運営や避難所における生活の質の向上等が求められています。

本市においても、昨年度から簡易ベッドやパーティションの備蓄を進めており、今年度で必要数を確保します。

また、発災直後の上下水道等が復旧していない段階でも使用可能なトイレカーを、国の交付金や県の補助金を活用し、本年中に整備します。今後も国や県の補助制度を活用し、避難所における良好な生活環境の整備に努めていきます。

（市長）

質問の主な項目
- 移動支援について
- 坂出市立病院について

など



寒川（さんがわ） 佳枝（よしえ） 議員 公明党議員会

質問の様子はこちら！

電話リレーサービスについて

Q 手話リンクを本市でも導入してはどうか。

A 聴覚障がい者や発話に困難のある方にとって、音声でやり取りする電話の利用は、介助者の助けがないと使うことは困難であり、大きな障壁となっています。

本市においては、これまでも聴覚障がい者等の円滑な意思疎通を支援するため、手話通訳者の設置や派遣を行い、必要な情報が届くよう努めてきました。こうした中、一般財団法人日本財団電話リレーサービスが提供する手話リンクは、利用者が手話通訳オペレーターを介して電話によるやり取りができるサービスであり、電話利用の障壁を解消する有効な手段の一つであると認識しています。必要な情報がよりよく行き届くようにするとともに、社会参加の促進を図るため、庁内関係各課と協議しながら、手話リンクの新年度からの導入に向けて取り組んでいきます。

（副市長）

駅前拠点施設、坂出緩衝緑地エリアについて

Q 大橋記念図書館の歴史について、駅前拠点施設への展示は考えているのか。また、大橋御夫妻の顕彰は考えているのか伺う。

A 大橋記念図書館は、長年にわたり市民の皆様に親しまれ、本市の社会教育や文化振興の拠点として重要な役割を果たしてきました。

これまで大橋記念図書館が培ってきた歴史や、市民の皆様とのつながりを大切にしていくことは大変重要であると認識しています。

新しくできる駅前拠点施設においても、その歴史や大橋御夫妻の多大な功績を後世に伝えていくことは極めて意義深いものと考えており、今後は、運営事業者を含めた関係者の方々と、具体的な展示内容や顕彰方法について検討していきます。

（市長）

質問の主な項目
- 児童生徒の学びの充実について
- さかいで131、ぼうさいおとめ隊について